

研究成果展開事業 大学発新産業創出プログラム
プロジェクト推進型 SBIR フェーズ1 支援
2024 年度事後評価結果

グラント番号	JPMJST2455
研究開発課題名	音声帯域リアルタイム変換技術と超音波を用いた局所音声案内システムの開発と社会親和性検証
研究代表者	鹿児島大学 大学院理工学研究科 准教授 西村 方孝
研究開発成果の概要	音声帯域をリアルタイムに変換する技術と超音波を組み合わせた局所音声案内システム（超音波ラジオ）を社会実装する上で不可欠な科学的検証を実施し、海外市場を見据えた起業計画を実行した。また、超音波ラジオの実証実験を盲学校で行い、超音波ラジオの上市に向けて、民間企業数社、障害者団体等との連携体制を構築した。

総合評価

視覚障害者の移動ニーズに対し、新規の技術で果敢に取り組む課題であり、社会的に非常に有意義な技術と高く評価できる。フェーズ1では着実な進捗を確認できたものの、技術の有用性が示唆された段階であり、アプリケーションや社会実装の姿に不透明な部分が残る。フェーズ2では、アプリケーションの具体性を高め、さらに事業化を見据えた体制を示すことを期待する。

以上